



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月4日

上場会社名 富士石油株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5017 URL http://www.foc.co.jp/  
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)柴生田 敦夫  
 問合せ先責任者 (役職名)総務部担当部長 (氏名)岩本 巧 (TEL)03(5462)7803  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	534,585	4.8	△18,784	—	△16,428	—	△16,850	—
26年3月期第3四半期	510,326	△11.5	△5,609	—	△6,483	—	△7,528	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △16,216百万円(—%) 26年3月期第3四半期 △3,820百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△218 66	—
26年3月期第3四半期	△97 50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	330,072	58,084	17.5
26年3月期	380,242	75,347	19.8

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 57,807百万円 26年3月期 75,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0 00	—	5 00	5 00
27年3月期	—	0 00	—		
27年3月期(予想)				—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有  
 現時点では平成27年3月期の期末配当は未定とします。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	670,000	△4.7	△21,000	—	△19,000	—	△19,000	—	△246 55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

なお、在庫影響(\*)を除いた利益相当額(予想)は、以下のとおりです。

	営業利益	(対前期増減率)	経常利益	(対前期増減率)
在庫影響を除いた利益相当額(通期)	27年3月期 予想 50億円	(—)	70億円	(—)
	[<参考> 26年3月期 実績 △97億円		△120億円]	

(\*) 総平均法によるたな卸資産の評価が売上原価に与える影響

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年3月期3Q	78,183,677株	26年3月期	78,183,677株
27年3月期3Q	1,121,076株	26年3月期	1,121,076株
27年3月期3Q	77,062,601株	26年3月期3Q	77,217,601株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における原油価格（ドバイ原油）は、期初1バレルあたり104ドル台で始まり、6月には地政学リスクの高まりを受け111ドルを超えるまで上昇しましたが、その後は世界経済の減速懸念等から下落に転じ、11月末にOPEC総会で減産が見送られると価格は急落状態となり、12月末には52ドル台まで下落しました。この結果、期中平均では約94ドルとなりました。

一方、期初1ドル103円台で始まった為替相場は、米国における利上げ観測等から夏以降円安となり、10月末に日銀による追加緩和が決定した後は急速に円安が進み、12月末には120円台となりました。この結果、期中平均では約107円となりました。

(原油価格、為替レートの状況)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
ドバイ原油（ドル/バレル）	104.6	94.1	△10.5
為替レート（円/ドル）	99.4	106.7	7.3

このような事業環境のもと、袖ヶ浦製油所での原油処理量は、4年に1度の大規模定期修理を実施した前年同期に比して1,010千キロリットル増の6,133千キロリットル、当社の石油製品及び石油化学製品等の販売数量は、894千キロリットル増の6,374千キロリットルとなりました。

こうした状況のもと、当第3四半期連結累計期間の業績は下記のとおりとなりました。売上高は、大規模定期修理を実施した前年同期に比して242億58百万円増収の5,345億85百万円となりました。損益につきましては、期中における原油価格の著しい下落に伴い、在庫影響（総平均法によるたな卸資産の評価が売上原価に与える影響）が198億円の原価押し上げ要因（前年同期は29億円の原価押し下げ要因）となったこと等から、営業損失は前年同期比131億74百万円悪化の187億84百万円となりました。経常損失は、円安の進展に伴う外貨建資産の保有・取引に係る為替差益の拡大や持分法による投資利益の増加等により営業外損益が改善したものの、前年同期比99億45百万円悪化の164億28百万円となりました。四半期純損失は、前年同期比93億21百万円悪化の168億50百万円となりました。

なお、在庫影響を除いた実質ベースの損益は、前年同期に実施した大規模定期修理の影響の解消ならびに原油価格下落後の石油ピッチの採算改善や自家燃料費の低減等により大幅に改善し、営業利益相当額は10億円（前年同期比96億円改善）、経常利益相当額は34億円（前年同期比128億円改善）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ473億31百万円減少の2,053億83百万円となりました。主な要因は、たな卸資産の減少301億99百万円、未収入金の減少138億10百万円であります。

## (固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末と比べ28億38百万円減少の1,246億89百万円となりました。主な要因は、減価償却による減少64億74百万円、投資有価証券の増加19億17百万円であります。

## (流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ302億21百万円減少の2,161億77百万円となりました。主な要因は、買掛金の減少222億86百万円、短期借入金の減少209億9百万円、未払金の増加99億51百万円であります。

## (固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末と比べ26億85百万円減少の558億10百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少41億13百万円、修繕引当金の増加14億81百万円であります。

## (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ172億63百万円減少の580億84百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少178億94百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前回予想(平成26年11月5日発表)以降の原油価格及び為替レートの変動等を勘案し、通期の業績予想を修正いたします。

今回の修正見通しでは、原油価格(ドバイ原油)を第4四半期平均50ドル/バレル(前回予想同95ドル/バレル)、為替レートを第4四半期平均120円/ドル(前回予想同110円/ドル)といたしました。

売上高は、第3四半期以降の原油価格の大幅な下落等により、前回予想比570億円減収の6,700億円となる見通しです。

損益につきましては原油価格の著しい下落に伴う在庫影響の悪化等により前回予想比で大幅な減益となり、営業損益は前回予想比234億円減益の210億円の損失、経常損益は前回予想比208億円減益の190億円の損失、当期純損益は前回予想比203億円減益の190億円の損失となる見通しです。なお、在庫影響を除いた営業利益相当額は前回予想比18億円増益の50億円、経常利益相当額は前回予想比44億円増益の70億円となる見通しです。

期末配当につきましては、当期の業績が上記業績予想修正のとおり大幅な下方修正となる見通しであること、他方でこの先の原油価格の動向が著しく不透明であり、原油価格の動向次第で業績も大幅に変動する可能性があること等を勘案し、前回予想の1株当たり6円から未定とし、最終的には当期の業績等を踏まえて決定することといたします。

なお、詳細につきましては、本日発表の「業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取り扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が499百万円増加し、退職給付に係る資産が158百万円減少し、利益剰余金が658百万円減少しています。なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,837	16,322
受取手形及び売掛金	89,244	83,182
有価証券	254	234
たな卸資産	129,460	99,260
未収入金	18,633	4,823
繰延税金資産	786	175
その他	1,497	1,383
流動資産合計	252,714	205,383
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,319	10,722
油槽(純額)	3,090	2,976
機械装置及び運搬具(純額)	30,668	26,015
土地	51,794	51,665
建設仮勘定	290	562
その他(純額)	270	251
有形固定資産合計	97,434	92,194
無形固定資産		
ソフトウェア	645	433
その他	182	170
無形固定資産合計	828	604
投資その他の資産		
投資有価証券	10,676	12,594
長期貸付金	996	996
繰延税金資産	140	-
退職給付に係る資産	158	-
その他	17,751	18,758
貸倒引当金	△458	△458
投資その他の資産合計	29,265	31,890
固定資産合計	127,527	124,689
資産合計	380,242	330,072

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	55,544	33,257
短期借入金	146,603	125,694
1年内返済予定の長期借入金	5,980	6,161
未払金	13,876	23,827
未払揮発油税	17,678	21,252
未払法人税等	153	69
その他	6,561	5,914
流動負債合計	246,399	216,177
固定負債		
長期借入金	40,792	36,679
繰延税金負債	11,041	10,669
特別修繕引当金	2,206	2,246
修繕引当金	987	2,468
退職給付に係る負債	3,020	3,300
役員退職慰労引当金	33	34
その他	414	411
固定負債合計	58,496	55,810
負債合計	304,895	271,988
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	24,467	24,467
資本剰余金	57,215	57,215
利益剰余金	△3,176	△21,071
自己株式	△1,431	△1,431
株主資本合計	77,074	59,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	115	242
繰延ヘッジ損益	0	-
土地再評価差額金	1	1
為替換算調整勘定	△2,295	△1,814
退職給付に係る調整累計額	217	198
その他の包括利益累計額合計	△1,961	△1,372
少数株主持分	234	276
純資産合計	75,347	58,084
負債純資産合計	380,242	330,072



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	510,326	534,585
売上原価	513,176	550,763
売上総損失(△)	△2,850	△16,178
販売費及び一般管理費	2,759	2,605
営業損失(△)	△5,609	△18,784
営業外収益		
受取利息	22	17
受取配当金	114	203
為替差益	1,715	3,363
持分法による投資利益	33	1,423
タンク賃貸料	109	120
その他	138	249
営業外収益合計	2,132	5,377
営業外費用		
支払利息	1,992	2,175
タンク賃借料	152	196
その他	861	649
営業外費用合計	3,005	3,021
経常損失(△)	△6,483	△16,428
特別利益		
固定資産売却益	0	-
国庫補助金	6	-
事業譲渡益	200	-
特別利益合計	206	-
特別損失		
事業整理損	532	-
固定資産売却損	-	36
固定資産除却損	281	23
ゴルフ会員権評価損	-	3
統合関連費用	151	-
特別損失合計	965	63
税金等調整前四半期純損失(△)	△7,242	△16,491
法人税、住民税及び事業税	9	4
法人税等調整額	256	309
法人税等合計	265	314
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△7,507	△16,806
少数株主利益	21	44
四半期純損失(△)	△7,528	△16,850

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△7,507	△16,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	374	127
繰延ヘッジ損益	-	△0
為替換算調整勘定	2,402	88
退職給付に係る調整額	-	△18
持分法適用会社に対する持分相当額	910	392
その他の包括利益合計	3,687	589
四半期包括利益	△3,820	△16,216
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,841	△16,261
少数株主に係る四半期包括利益	21	44

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは石油精製/販売事業のみの単一のセグメントであるため、記載を省略しております。